

旧堀切小学校の跡につくった高さ10メートルの「津波避難マウンド」、ここまで逃げれば大丈夫という津波の「セーフティライン」を道路に表示する「道標プロジェクト」など、田原市が取り組む津波対策について聞いた。

# 安全ゾーンへ導く道標 命を守る対策に知恵絞る

田原市は渥美半島にあり、南海トラフ地震が来るとはかりきれない津波被害を受けるといわれている。田原市に津波が到達するまでの時間で、早く避難しないと津波にのまれてしまう。



「津波避難マウンド」のある「ほりきり広場」

現在は、旧堀切小学校の跡地にはマウンドがある。マウンドとは、標高15・1メートルの避難場所、逃げ遅れた人が一時的に避難する場所になっている。高さは10メートルあり、階段がいろいろな方向にある。スロープもあるので、病気の人もお年寄りも登りやすい造りになっている。マウンドの上には非常用トイレが8基あり、ふだんはベンチだが、災害が起きたときは組み立てて使えるようになってい

る。田原市の取り組みには、「道標プロジェクト」というものもある。消防士の遠山直也さんが考え出した対策で、南海トラフ地震発生時に津波被害が予想される道路に、「ここまで来れば命が助かる」とこごご「セーフティライン」を設けるプロジェクトだ。田原市内では、「セーフティライン」までの案内として、進む方向と距離を示した看板が道に設置されている。また、避難場所までの案内看板も設置されていて、初めて来た人でもわかりやすくなっている。だが見ても避難できないようにすることでたくさん人の命が助かるので、とても良いと思った。

このほかに、その場所の海拔と、津波がきても心配のない高さが表示された電柱がある。その電柱を見ることで、

命を守るために、いろいろな対策に地域で取り組むことが、今後の災害対策で一番大切なことだとわかった。田原市で学んだことを生かし、自分の地域でできることを考えて広めていきたい。



山下 湊人 記者

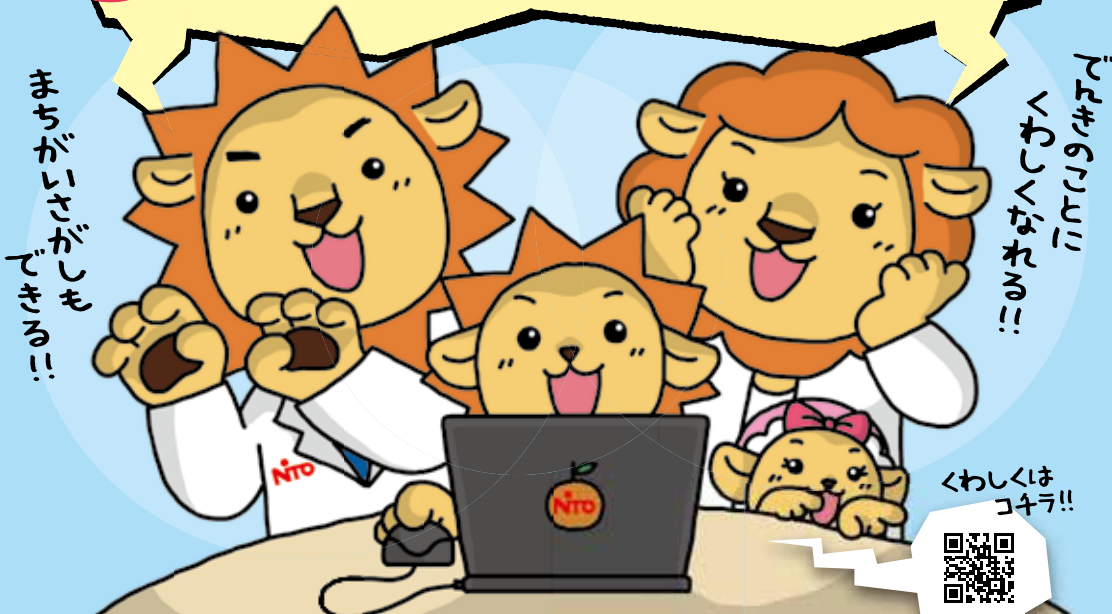


「津波避難マウンド」に登った



「セーフティライン」まで案内する看板

## あっ！「ソーライオンの部屋」が新しくなってる！



まちがいさがしもできる!!

トランプゲームもできる!!

くわしくはコチラ!!



べんきょうになるよ！「電気の教室」 / まちがいさがしのであそぼう！「ダウンロード」



ソーライオンファミリーのヒミツやためになる「電気の教室」などの楽しいコトがいっぱい!!

